

令和6年度入学試験問題

外国語（英語） 601

（前期日程）

出題意図

概要

高等学校学習指導要領に示されたコミュニケーションのための英語について、大学入学共通テストにおける客観的設問では判定しにくいコンテキストの理解ならびに異なった意見や視点についての判断力をふまえての言語理解、および表現の能力を試すための問題である。高校の英語の授業で行うリーディング活動を念頭に置いた設問により、文中で語られる人物相互の関係や立場、またそれを読者がどう受け止めるべきかという事項について考えながらリーディングを行い、読み取った内容を他者にフィードバックするという英語コミュニケーションの力を試すことを意図している。また、発信的コミュニケーションの力を評価するため、自らの提案について説得力を持つように述べる力を試すライティングの課題を出題した。

第1問では、アメリカの学校新聞に掲載された高校生によるコラム記事を題材として、ある高校生が子どもたちとのかかわりを通じて自分自身についての発見をした経験について、子どもの視点、過去の自分の視点、そして新たに獲得した視点について読み取るための課題を課している。第2問では、TEDトークイベントのスピーチを題材として、英語の文章からアルツハイマー病の患者のおかれた状況についてイメージができるかという点を中心に、英問英答の形で受験者の理解とコミュニケーション力を問う。第3問においては、身近な社会問題を話題として、自ら提案し、それを読み手に説得力をもって提示できるかどうか、英語コミュニケーションにおける発信力を試すことを意図した。

第1問

アメリカの学校新聞に掲載された高校生によるコラム記事を題材として、ある高校生が子どもたちとのかかわりを通じて自分自身についての発見をした経験について、子どもの視点、高校生の筆者の過去の自分の視点、そして新たな視点について読み取るための課題を課している。筆者はなぜ最初、小学生に尊敬の念を示されたときに素直に受け入れられなかったのか。どのようにしてそれを受け入れられるようになったのか。他人の意見を受け入れることの効用をどのように学んだのかというコンテキスト的理解、視点的理解が試される題材を用いて、その理解を英語で伝えることを求める設問によりコミュニケーションのための英語読解力を試すのがねらいである。英語による答案については、必ずしも完全な文による解答を求めるものではない。設問について、問いに対して内容の理解を過不足や誤解なく正確に

伝えられるかを基準として評価する。

第2問

TED トークイベントのスピーチを題材として、英語の文章からアルツハイマー病の患者のおかれた状況についてイメージができるかという点を中心に、英問英答の形で受験者の理解とコミュニケーション力を問う。記憶ができないということが患者本人や周囲にどのような困難な状況をもたらすのか、そうした状況を英語から想像しながら読み取れるかが文章理解のカギとなる。アルツハイマー病患者の抱える困難、そしてそれに備える3つの方法とそのための具体的な活動について、状況を想像しながら読み取る力と論理的な理解力が試される題材を選んだ。英語による答案については、必ずしも完全な文による解答を求めるものではない。設問について、問いに対して内容の理解を過不足や誤解なく正確に伝えられるかを基準として評価する。

第3問

ボランティア活動等を通じて地域社会とのかかわりを学ばせる活動を取り入れる学校が多いが、この設問においては、受験生に地域社会とのエンゲージメントという場を設定し、自ら提案し、それを読み手に説得力をもって提示できるかどうか、英語コミュニケーションにおける発信力を試す。語彙、表現の適切な使用、文と文との論理的なつながりを示す表現、また提案理由の具体性、さらにそれらが一貫した議論として構成され説得力をもつかについて評価する。